



株式会社

エービーエム

2020年度

環境経営レポート

(南陽市勤労者総合福祉センター)

2020年4月～2021年3月

発行日：2021年7月1日

豊かに快適な環境を求めて…



爽やかな笑顔、
真心のサービス



環境経営レポート部門



®環境省
エコアクション21
認証番号0011545



社 是

私達は、技術・知識の向上に努め
安全・安心・清潔のサービスをモットーに
快適な環境を社会へ提供します。

経 営 方 針

私達は お客様感動を達成します。
私達は 事故ゼロを継続します。
私達は 不祥事案を撲滅します。
私達は 環境方針を推進します。

環 境 経 営 方 針

環境理念

私たちは、ふるさとの豊かな環境を守り、持続可能な社会の実現を目指すため、環境マネジメントシステムの継続的な運用改善を図り、自らの環境負荷を可能な限り削減していくとともに、総合ビル管理、警備、指定管理等の業務を通じて、「安全・安心・清潔」に関する技術と真心サービスを提供しつつ、お客様の環境負荷の削減にも寄与してまいります。

環境行動指針

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 電力使用、化石燃料の消費に伴い発生する二酸化炭素を計画的に削減していきます。
3. 廃棄物を可能な限り削減するとともに分別を徹底し、リサイクル率の向上に努めます。
4. 節水に努め、水資源を大切にします。
5. 化学物質の使用量を削減していきます。
6. 社員のスキル向上により、業務の効率化を図り、他社との差別化を図ります。
7. お客様の環境負荷削減につながる提案を積極的に行い、可能な範囲で実践します。
8. 地域の環境保全活動に貢献します。

制定日：平成28年6月1日

最終改定日：令和元年5月1日

代表取締役社長 赤間俊明

2. 組織の概要



2-1. 事業者名及び代表者氏名

- 株式会社エービーエム
- 代表取締役社長 赤間俊明

2-2. 所在地

- 本社：〒992-0003 山形県米沢市窪田町窪田 584-2
- 指定管理施設「南陽市勤労者総合福祉センター」
〒992-0472 山形県南陽市宮内4526-1

2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

- 環境管理責任者：清掃業務部部长 遠藤雅之
- 施設環境管理責任者：五十嵐久人
- 連絡先：TEL. 0238-47-6445

2-4. 施設概要

ワトワセンター南陽(南陽市勤労者総合福祉センター)は、中小企業に働く皆様の福祉の充実と勤労意欲の向上などを目的に、職業の情報提供を行うほか、文化・教養・研修活動を通じ、雇用の促進と職業の安定とを実現するための施設です。

- 平成5年12月1日 雇用促進事業団委託施設として供用開始
その後平成16年4月 建物売買契約後、市有財産として運営開始
- 構造：鉄骨コンクリート造屋根平屋建
- 施設内容：多目的ホール、会議室、研修室、音楽室、
教養文化室、事務室、屋外テニスコート
- 敷地面積 3582.23㎡ 建築面積 977.28㎡ 延べ面積977.28㎡
全天候型砂入人工芝テニスコート 面積1383.0㎡
- 常勤社員：3名（正社員1名、パート社員2名）



2-5. 施設利用状況

事業年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業規模						
利用料金収入額(円)	4,434,845	4,434,905	4,262,540	4,360,635	4,385,410	3,045,005
施設利用人数(人)	27,558	27,361	22,718	22,297	22,531	16,240

※令和2年度 4月2日～5月18日まで感染症拡大防止のため休館となりました。



3. 環境目標とその実績



3-1. 環境負荷の現状(令和2年度環境負荷自己チェック結果より)

■ 二酸化炭素排出量

※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については、H30年度東北電力（調整後：0.528）を用いています。

1) 当施設における令和2年度のCO₂排出量は合計51,321kg-CO₂となっており、前年度比8.4%減少しました。これは平均的な一般家庭12.3軒分の排出量に相当します。（平成30年度1世帯あたりの平均年間排出量は4,150kg-CO₂：出典：温室効果ガスインベントリオフィス）

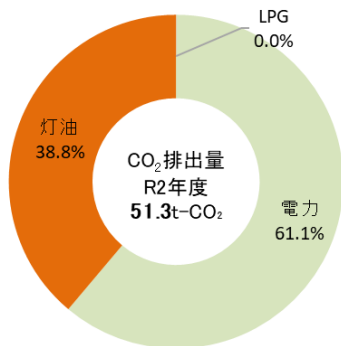
2) 当施設から排出されるCO₂の61.1%は電力の使用に伴うもので31,379kg-CO₂（前年度比13%減）、次いで灯油の消費に伴うものが35.6%、19,935kg-CO₂（前年度比0%）、LPGが7kg-CO₂（前年度比82%減）となっています。

3) 電力は施設の照明、テニスコートの夜間照明、冷暖房の稼働で使用しています。また、灯油は冷暖房ボイラー運転用、LPGは給湯、利用者のシャワー用となっています。

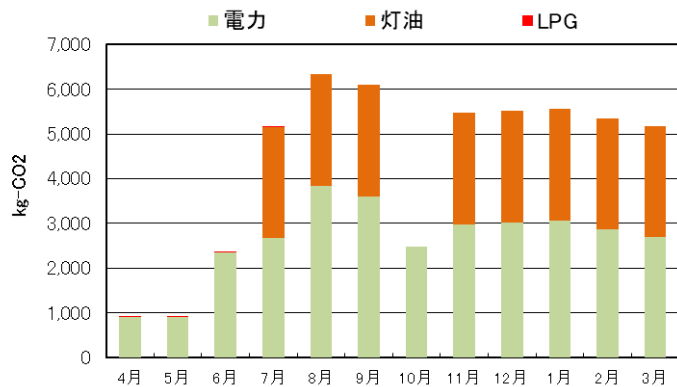
4) 月別のCO₂発生量は夏期と冬期間が多くなっています。これは、当館の空調機は吸収冷温水機を使用しており、冷房時、暖房時ともに灯油と電気を同時に使用するため増加しています。

5) 以上のことから、灯油使用量の削減と電力使用量の削減が重点課題となりますが、特に空調機は設置から相当の年数が経っており、空調設備の切替時には、省エネ機器への交換や、館内のLED化を行政に提案し、実施していくことが必要であると思います。

<二酸化炭素の排出源(R2年度)>



<月別二酸化炭素排出量(R2年度)>



■ 廃棄物排出量

■一般廃棄物：可燃ごみ、紙類（資源回収対象）などは、行政の分別ルールに従い、それぞれ、量を把握した上で排出しています。古紙・コピー紙が最も多く19kg、次いで可燃ゴミが14kg、廃プラが2.0kgでした。リサイクル率は60.5%となっていました。

可燃ごみは利用者の持ち込みゴミ、個人情報が入った書類はシュレッダーをかけているためシュレッダーゴミといった可燃ごみが発生しています。館内にはゴミ箱は設置していませんが、給湯室の茶殻や残渣、トイレのゴミも含まれています。

■産業廃棄物：排出されたのは廃蛍光灯で2kgでした。照明器具の経年劣化により、通常よりも蛍光灯の寿命も短くなっていると思います。乾電池は全て充電式のものに切り替えています。

■ 総排水量（水使用量）

上水のみ使用しており、年間496m³（前年度493m³）使用し、下水道に排出しております。前年度より0.1%増加しました。用途は生活排水（トイレ、手洗い、シャワー）のほか、花の水遣り、空調設備のクーリングタワー等での補給水が挙げられます。

■ 化学物質使用量（購入量）

該当する物質について、本社・南陽営業所データに含まれています。

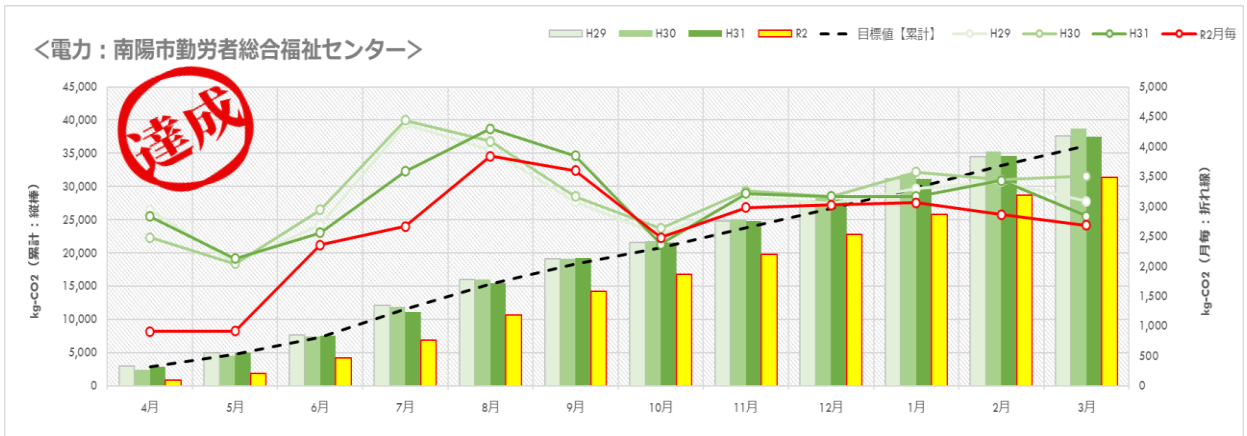


3-2. 環境目標（単年度・中期）と達成状況

環境経営方針との整合性を図りながら、環境負荷の自己チェックの結果を踏まえ、二酸化炭素、廃棄物、水、グリーン購入について、環境目標（単年度目標&5年間の中期目標）とその達成に向けた活動計画を策定し、取組を行いました。達成状況は下記のとおりです。

■ 二酸化炭素排出量（電 力）

【R2年度目標】H29年度比4%削減
 【中期目標（H30～R4）】H29年度比10%削減



【取組結果】（取組期間：R2.4～R3.3）

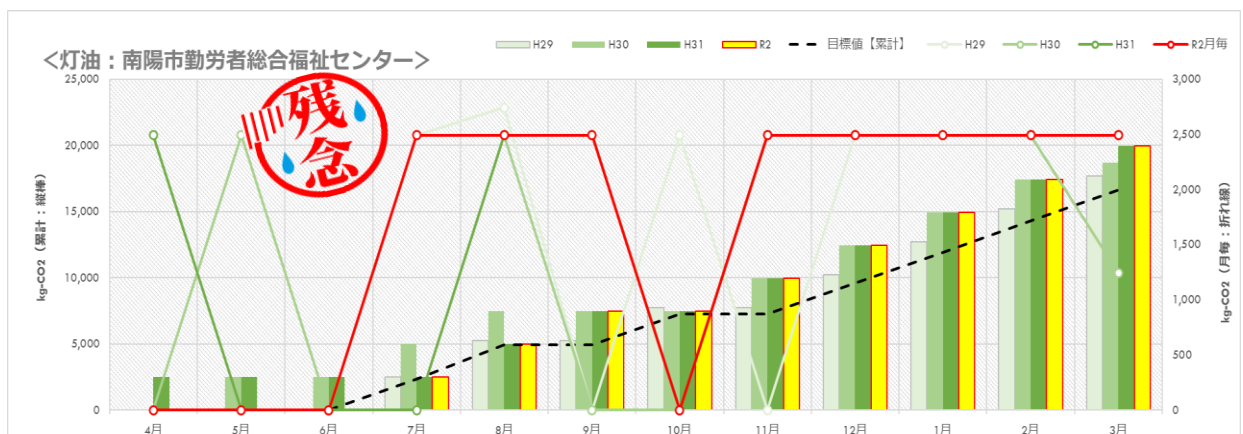
- 基準年度実績：37,609 kg-CO₂
- 取組期間目標：36,105 kg-CO₂
- 取組期間実績：31,379 kg-CO₂
- 増減量： -6,230kg-CO₂
- 増減率： -16.6%

【評価コメント】

前半4～5月は新型コロナの影響で休館。スタッフは出勤していたが、利用者がいない状況だったため、電力使用が大幅に減少しました。その後も貸し控えなどが相次ぎました。後半になってもコロナ前の利用状況には戻りませんでした。そのため、電気使用量も減少し目標を達成することが出来ました。

■ 二酸化炭素排出量（灯 油）

【R3年度目標】H29年度比4%削減
 【中期目標（H30～R4）】H29年度比10%削減



【取組結果】（取組期間：R2.4～R3.3）

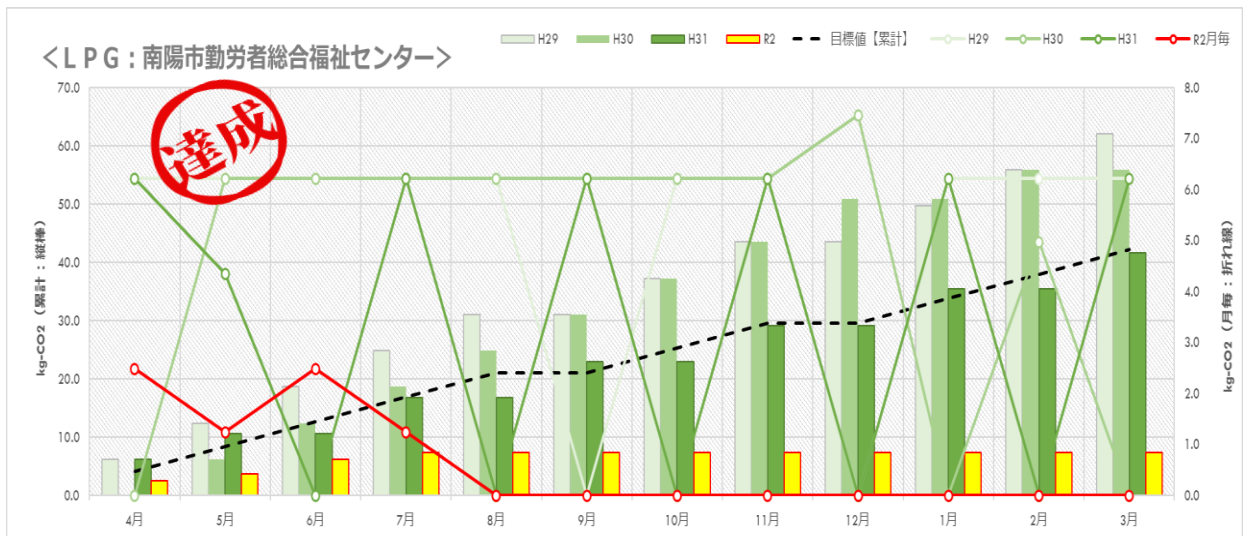
- 基準年度実績：17,693 kg-CO₂
- 取組期間目標：16,631 kg-CO₂
- 取組期間実績：19,935 kg-CO₂
- 増減量： +2,243 kg-CO₂
- 増減率： +12.7%

【評価コメント】

前半、4～5月は新型コロナの影響で休館。スタッフは出勤していたが、利用者がいない状況だったため、灯油使用が大幅に減少しましたが、徐々に規制が緩和され、通常利用に近づきましたが、全体の利用は少なめで推移。当館は全館空調のため、貸室が少なくとも冷温水発生機を稼働しなければならず、感染症対策で換気しながらの空調のため、非効率で灯油使用量は増加してしまいました。

■ 二酸化炭素排出量 (L P G)

【R2年度目標】 H29年度比32%削減
 【中期目標 (H30~R4)】 H29年度比32%削減



【取組結果】 (取組期間：R2.4~R3.3)

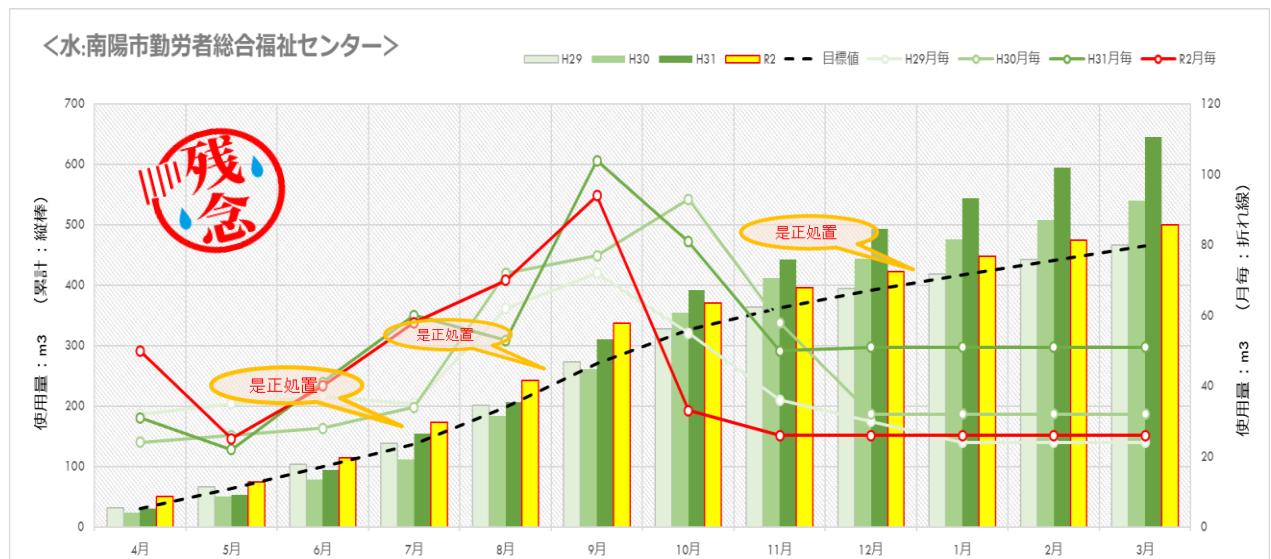
- 基準年度実績：62.1 kg-CO₂
- 取組期間目標：42.3 kg-CO₂
- 取組期間実績：7.5 kg-CO₂
- 増減量：-54.7 kg-CO₂
- 増減率：-88.0%

【評価コメント】

新型コロナの感染防止対策により館内での飲食を禁止しているため、給湯室で湯を沸かすことがなくなりました。また更衣室も利用禁止にしているため、シャワーの利用がなく、ガスがほとんど使われませんでした。その結果、目標を達成することが出来ました。

■ 水使用量

【R2年度目標】 H29年度比4%削減
 【中期目標 (H30~R4)】 H29年度比10%削減



【取組結果】 (取組期間：R2.4~R3.3)

- 基準年度実績：466 m³
- 取組期間目標：447m³
- 取組期間実績：500m³ ※ (冬期間は推定水量)
- 増減量：+34m³
- 増減率：+7.3%

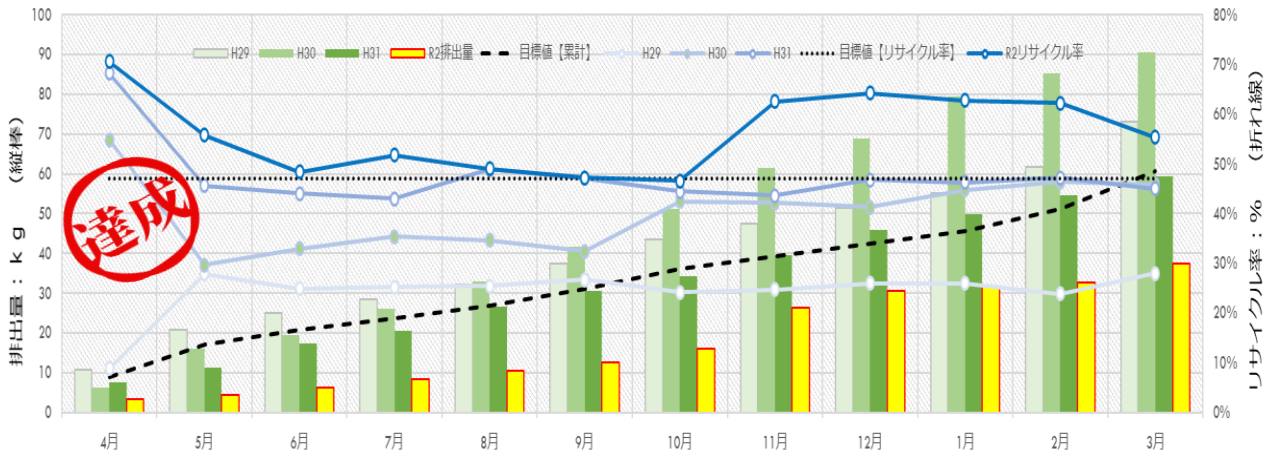
【評価コメント】

冬期間は閉栓しているテニスコートの水道を開栓した際、元栓不良のため、漏水してしまい、4月の水量が増加してしまいました。(復旧済) 感染症対策のための「手洗い頻度の増加」や冷水発生機の老朽化などにより水道使用量が増加しました。3度目標を是正いたしました。3度目標を是正いたしましたが、目標達成することが出来ませんでした。

■ 一般廃棄物排出量

【R2年度目標】 H29年度比で排出量17%削減／リサイクル率20%向上
 【中期目標 (H30~R4)】 H29年度比で排出量10%削減 リサイクル率20%向上を維持

<一般ゴミ/リサイクル率：南陽市勤労者総合福祉センター>



【取組結果】 (取組期間：R2.4~R3.3)

- 基準年度実績：排出量 73kg リサイクル率 28%
- 取組期間目標：排出量 61kg リサイクル率 47%
- 取組期間実績：排出量 **37.3kg** リサイクル率 **55%**
- 増減量：排出量 -36kg リサイクル率 +27%
- 増減率：排出量 -49.6%

【評価コメント】

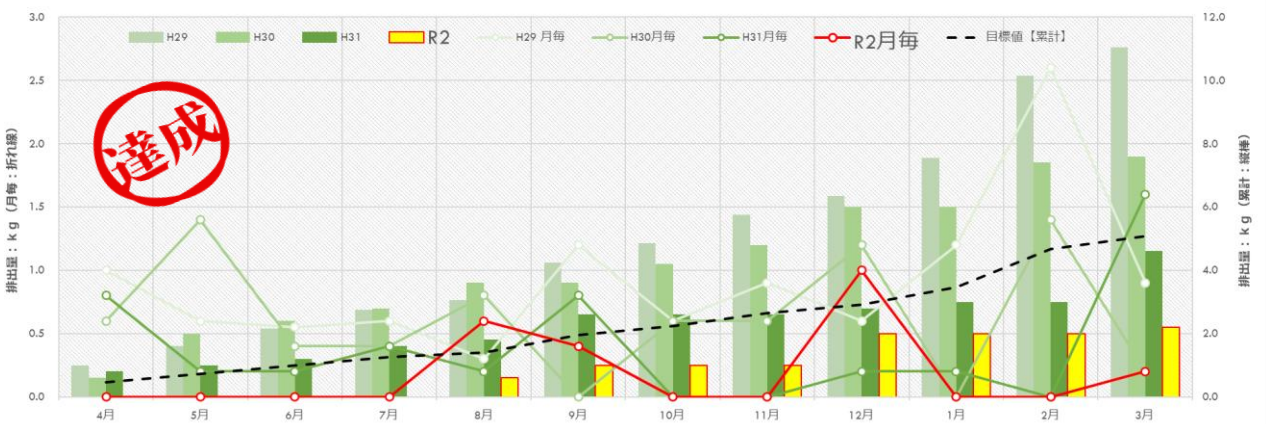
来館者のゴミの持ち帰りを推進するため、館内のゴミ箱を撤去したこと、コロナ禍で利用が減少したことにより、ゴミの排出量は激減しました。可燃ごみより紙類の排出量が多かったこと、分別の徹底をしたことにより、リサイクル率も向上し、両項目とも目標を達成することが出来ました。

■ 産業廃棄物排出量

【R2年度目標】 H29年度比54%削減
 【中期目標 (H30~R4)】 H29年度比54%削減を維持



<産業廃棄物：南陽市勤労者総合福祉センター>



【取組結果】 (取組期間：R2.4~R3.3)

- 基準年度実績：11.1 kg
- 取組期間目標：5.1 kg
- 取組期間実績：**2.2 kg**
- 増減量：-8.9 kg
- 増減率：-80.1%

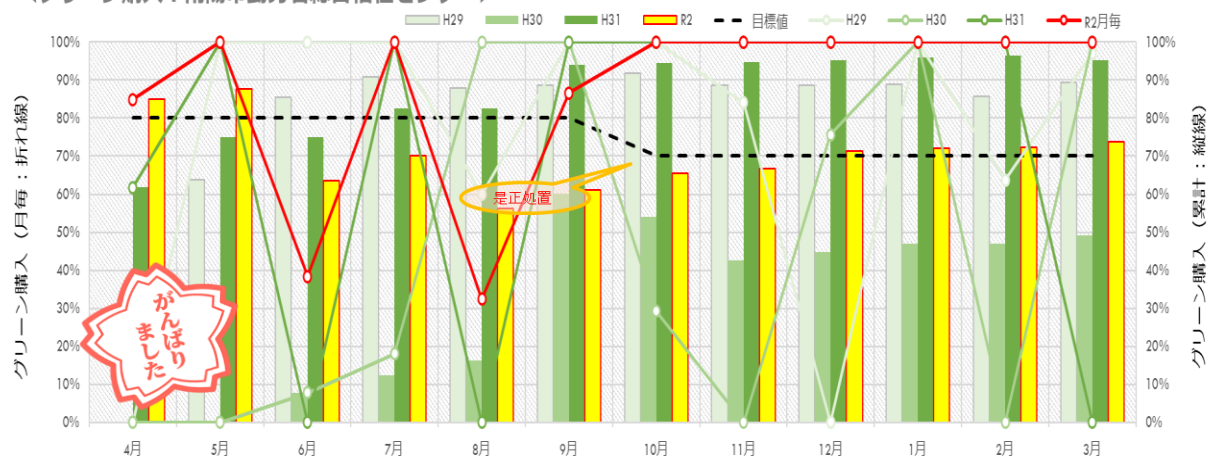
【評価コメント】

基準年度と比べると、乾電池を充電式にしたことで、排出したのは蛍光灯のみですが、館内の利用が少なかったこともあり、蛍光灯の交換頻度も減少しました。よって排出量が激減し、目標を達成することが出来ました。

■ グリーン購入

【R2年度目標】グリーン購入率80%以上
 【中期目標（H30～R4）】グリーン購入率80%以上

<グリーン購入：南陽市勤労者総合福祉センター>



【取組結果】（取組期間：R2.4～R3.3）

- 取組期間目標：80%
- 取組期間実績：74%

【評価コメント】

グリーン商品を意識して購入していましたが、新型コロナウイルス感染症対策で購入した消毒剤がグリーン購入対象外だったため、購入率が低下してしまいました。途中で目標を是正したことにより、目標を達成することが出来ました。

当センターの感染症対策について



安心してご利用いただけるよう到来時の手指消毒、検温、来館者カードの記入、などをお願いしております。
 また、通常時より各部屋の定員人数を制限しております。
 飛沫感染を防ぐため、お客様と対面する場所にはビニールシートを設置し、感染症拡大防止に取り組んでいます。
 貸出したマイクなどの視聴覚機材も、返却時の点検の他、しっかりと消毒を行っております。

ご安心してご利用ください。

4. 環境活動計画と取組結果 並びに次年度の取組内容



<評価判定の目安>

- …実施済。80%以上の社員が取組んでいる。80点以上の満足度である。
- △…一部未実施。50～80%の社員が取組んでいる。50～80点ぐらいの満足度である。
- ×…未実施。50%未満の社員しか取組んでいない。50点未満の満足度である。(是正処置の対象)

環境経営 目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのように)	実施時期 (いつまでに)	場所・対象者 (どこで)	担当者(管理者) (だれが)	4～	7～	10～	1～	備考、是正 処置 の必要性等
						6月	9月	12月	3月	
二酸化炭素排出量の削減	■消費電力の削減	■室温は、暖房期20℃、冷房期28℃で管理	冷暖房期間	事務所等	施設環境管理責任者	○	○	○	○	
		■サーキュレーターを稼働させ、室内温度差をなくす	暖冷房期間	事務所等	施設環境管理責任者	×	×	×	×	
		■使用していない部屋のエアコンはOFF	冷暖房期間	事務所等	施設環境管理責任者	○	○	○	○	
		■定期的にエアコンのフィルターを清掃	6月・11月	事務所等	施設環境管理責任者	○	○	○	○	
		■不要な照明は消灯	通年	事務所等	施設環境管理責任者	○	○	○	○	
		■クールビズの推進(機能性下着の着用)	夏期	全社員	施設環境管理責任者	○	○			
		■ウォームビズの推進(保温性の高い下着の着用)	冬期間	全社員	施設環境管理責任者			○	○	
		■パソコンは省エネモードで使用	通年	事務所等	施設環境管理責任者	—	—	—	—	4月にパソコン撤去
		■トイレの暖房便座は夏期OFF(温水の温度設定は「低」)	夏期(通年)	トイレ	施設環境管理責任者	○	○			
		■グリーンカーテン	5月	事務所	施設環境管理責任者	×	×			
	■窓にすだれを垂らし、直射日光を防ぐ	7月	事務所	施設環境管理責任者	×	×				
	■その他化石燃料の削減 (灯油・LPG)	■暖房温度は決められた温度以下で管理する。	暖房期間	暖房エリア	施設環境管理責任者			○	○	
		■窓の内側に断熱材を貼り付ける	暖房期間	暖房エリア	施設環境管理責任者			○	○	
		■ウォームビズの徹底(服装による省エネ推進)	暖房期間	暖房エリア	施設環境管理責任者			○	○	
		■必要最低限の温度で給湯(夏期は使用しない)	夏期を除く期間	事務所等	施設環境管理責任者	△	○	○	○	
■廃棄物置場の整理整頓		通年	廃棄物置場	施設環境管理責任者	×	○	○	○		
■一般廃棄物の削減 (リサイクルの推進)	■不要な資料・カタログ等の辞退・返却	通年	全社員	施設環境管理責任者	○	○	○	○		
	■コピー用紙削減(両面コピー・裏紙利用の徹底)	通年	事務所	施設環境管理責任者	○	○	○	○		
	■一般廃棄物の排出量記録	排出時	廃棄物置場	施設環境管理責任者	○	○	○	○		
	■整理整頓	随時	社内外	施設環境管理責任者	△	△	○	○		
	■保管場所の管理(安全衛生状態も含む)	通年	廃棄物置場	施設環境管理責任者	○	○	△	△	市回収待ちの廃棄物が多い。	
	■産業廃棄物の削減と 適正管理	■充電式乾電池への転換	通年	現場	施設環境管理責任者	○	○	○	○	
		■マニフェスト・契約書類の管理	通年	事務所	施設環境管理責任者	○	○	○	○	
		■委託先の状況確認	2年に一度	事務局	施設環境管理責任者	○	○	○	○	
		■「節水」の掲示	通年	流し台	施設環境管理責任者	○	○	○	○	
	■水道使用量の削減	■蛇口元栓の調整(必要最小限の流水量)	6月末	流し台	施設環境管理責任者	○	○	○	○	
■その他節水対策機器に関する情報収集		通年		施設環境管理責任者	×	△	△	△		
■グリーン購入		物品購入時	事務所	施設環境管理責任者	○	○	○	○		
■事務消耗品のエコ商品購入率の把握	3ヶ月ごと	事務所	施設環境管理責任者	○	○	○	○			
	■資格取得者の増加	通年	全社員	施設環境管理責任者	×	×	×	×		
■社員のスキルアップ	■社内研修会・勉強会の開催、テキスト参考書購入補助	通年	全社員	施設環境管理責任者	×	×	×	×		
	■誤発報による緊急出動回数を減らす	■開始開錠ミス減らすように教育する。	通年	機械警備施設	施設環境管理責任者	○	○	○	○	
■会社周辺の清掃活動	■周辺道路のごみ拾い、草刈りなどの実施	月1回(冬期以外)	会社周辺	施設環境管理責任者	×	○	○			
	■その他	■家庭のアクション(夏・冬)に参加	夏・冬	全社員	施設環境管理責任者	—	×	—	×	

多くの計画は実施することができましたが、一部未実施だった部分がありました。従業員がいる事務室の窓は車いすのスロープになっていることから安全面からグリーンカーテンを設置するのを断念しました。サーキュレーターの設定についても、費用面で今年も準備することができませんでした。

周辺清掃のごみ拾い、草むしりを毎月1回実施しているスタッフミーティング前に実施いたしました。壊れた椅子などの備品の廃棄は南陽市で実施しているが、回収待ちです。家庭のアクションについて、スタッフへの浸透が出来ず、参加出来ませんでした。

◆令和3年度への変更点

これまでの活動をベースに、省エネ診断を受けたことで判明した、あまり環境負荷軽減に効果がない項目や、ガイドライン2017から削除されたもの、山形EA21関連のもの、すでに実施した項目については見直しいたします。

5. 環境関連法規等の遵守状況、 訴訟等の有無



5-1. 適用となる環境関連法規等とその遵守状況

当社が法的義務を受ける環境関連法規の遵守状況は、令和2年4月に関連法規一覧にまとめ、確認した結果、違反はありませんでした。

- 環境基本法等：問題なし
- 大気汚染防止法：問題なし
- ボイラー及び圧力容器安全規則：問題なし
- 水質汚濁防止法（貯油施設）：問題なし（訓練未実施だったため、H30年度中に実施済）
- 消防関係：問題なし
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律：問題なし（水銀使用製品産業廃棄物の掲示板設置済）
- フロン排出抑制法：問題なし
- 下水道法：問題なし
- 家電リサイクル法：問題なし

5-2. 法令違反・訴訟等の有無

行政からの環境関連法令違反の指摘・指導、環境面での訴訟は、創業以来ありません。



7. 代表者による見直しの結果



平成30年度から、エコアクション21の取組に参加し、3年が経ちました。令和2年11月にはエコアクション21更新審査があり、取組について大きな指摘事項もなく、環境経営システムは有効に機能をしていることが確認出来ました。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4月1日から5月18日まで臨時休館となり、その後も一部条件付きでの貸館となりました。また、利用団体の活動の自粛や、人数制限や利用制限など、感染状況に伴い、様々な変更を余儀なくされたことにより、利用件数、利用者数が減少してしまいました。

環境負荷面に目を向けると、利用件数は減少したものの、当施設は、全館空調のため、たとえ1部屋の利用でも全館を空調しなければならず、また、感染症対策で換気をしながらの空調となり、非効率な空調となり、電気、灯油ともに大きく減少することはありませんでした。また、テニスコートの水道の老朽化による元栓不良が原因の漏水がありました。一方で利用が減少したことにより、ゴミの持ち込みや茶殻や残渣などが減少し、ゴミの排出量が減少しました。また、産業廃棄物も充電式の電池への移行を進めたことにより、排出量を削減出来ました。良くも悪くも新型コロナに振り回された一年であると思っています。おかげさまで、新型コロナウイルス感染症対策を万全に行い、これまで当施設を由来する感染者はゼロを継続しております。今後は、ウィズコロナで、利用者にご利用いただける施設を広くPRすることにより、稼働率の回復を目指してまいります。

当施設は竣工から30年以上を経過し、様々な設備の老朽化が顕著に見られます。照明器具のLED化や、空調設備のリニューアルなど、今後も、南陽市様と二人三脚で当施設の環境負荷軽減を進めてまいります。

株式会社 エービーエム 代表取締役社長 赤間 俊明



8. 環境コミュニケーションの取組



7つ7 環境日記

3 すべての人に
健康と福祉を

～お願い～

お客様へお願い

【おのうら】 【扉の上】 【扉のすまゝ】

壁、隙間などにガムを捨てないでください
マナーを守りましょう。

お客様へお願い

ガム

※会議室の机の裏の写真で写真
以前からお客様への注意喚起はしておりましたが、一向に改善ありません。習慣が定まりず、当施設を利用して頂くために、再度お願いいたします。このように、【マナー・モラル】に反する行為は絶対に許さずいただきます。

環境部 環境推進課 環境推進課長 佐藤 誠一

○月×日 (△曜日)

最近、噛んだあとのガムをテーブルの裏側に付けていく人が多いようです。ポイ捨てと同じ行為です。
新型コロナウイルスが流行している時期ですし、感染症拡大防止の点から見ても、非常に危険です。最低限のマナー・モラルを持ってほしいと思います。

7つ7 環境日記

10 人や国の不平等をなくそう

【エコキャップを寄託しました】

ワトワセンター南陽をご利用いただいている皆様にご協力頂きながら回収した『ペットボトルのキャップ6k(約2400個)』を山形銀行宮内支店へ寄託してきました。今回は3人分(ポリアオクチンとして換算した場合)の命を救う成果となりました。ご協力ありがとうございました！

株式会社エコーシステムでは、環境負荷低減としてエコキャップ2の回収を開始しました。これまで「ゴミの削減・資源の活用」を目指して、社会貢献活動としてステイブル社会で環境意識向上の子どもたちにアクションを提供する「エコキャップ推進事業」に取り組んでまいりました。ワトワセンター南陽では、今後もエコキャップの回収に取り組んでまいります。引き続きご協力とご声援をお願いします。 2021年6月

○月×日 (△曜日)

今年も利用者のみみなさんと一緒に集めたエコキャップを 山形銀行宮内支店 さんへ寄託しました。
7クチンを受けることができない世界中の子どもたちへ、少しでも力になれれば幸いです。

7つ7 環境日記

11 住み続けられるまちづくりを

警告

※写真で示すような状態に陥らないよう、清掃員が巡回してまいります。また、見つけたゴミは必ず回収していただきます。清掃員が巡回するまでお待ちください。ご協力をお願いします。

○月×日 (△曜日)

ワトワセンターの敷地内に食べかけの弁当が捨てられることが何度も続きました。ゴミはスタッフが見つけた時にすぐ回収しています。誰が捨てているのかは分かりませんが、その人にも気持ちが悪くなるように注意書きを掲示したところ、捨てられることは無くなりました。

7つ7 環境日記

14 海の豊かさを守ろう

※お願い※

この水場は排水溝を通り、直接河川へ流れます。油などを流したり、合成洗剤等の使用は避けてください。

南陽市動物総合福祉センター

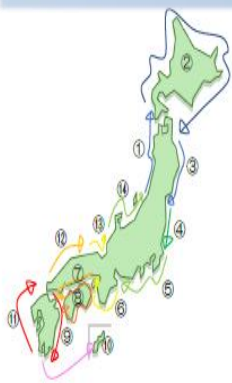
○月×日 (△曜日)

今日は屋外水道の点検をしました。屋外水道の排水は下水道に流れていると思っていましたが、現場を確認したところ、下水道には繋がっておらず、外の側溝に繋がっていました。環境を汚さないよう、すぐに注意喚起の掲示をしました。

エコキャップで日本一周プロジェクト！

ワトワセンターの館内に自動販売機を設置しているため、ペットボトルのキャップがゴミとして捨てられていることが多い実状がありました。そこで、少しでも廃棄物を削減することが出来ないか？環境活動に興味を持ってもらえるためにと考えたのが、このプロジェクトです。

- 1) ワトワセンターで回収したペットボトルキャップの数を3か月に1度計測します。
- 2) キャップ430個を燃やすと3150gのCO₂が発生するといわれています。この時に排出される二酸化炭素を、燃費8.33km/Lの車（日本保有車両の平均燃費）で同じ量の二酸化炭素を排出して走行したと仮定し、走行距離を計算します。
- 3) 日本地図上に走行距離を記録していきます。スタートはワトワセンターが位置する山形県南陽市、そこから海沿いを走行していきます。
- 4) さらに、現在の到達地点で行われている地域の環境に関するエコ活動情報を調べ、地図上に記載していきます。
- 5) 計測が終わったペットボトルキャップはエコキャップ運動として、発展途上国の子ども向けワクチン代として寄付します。



☆進め方☆

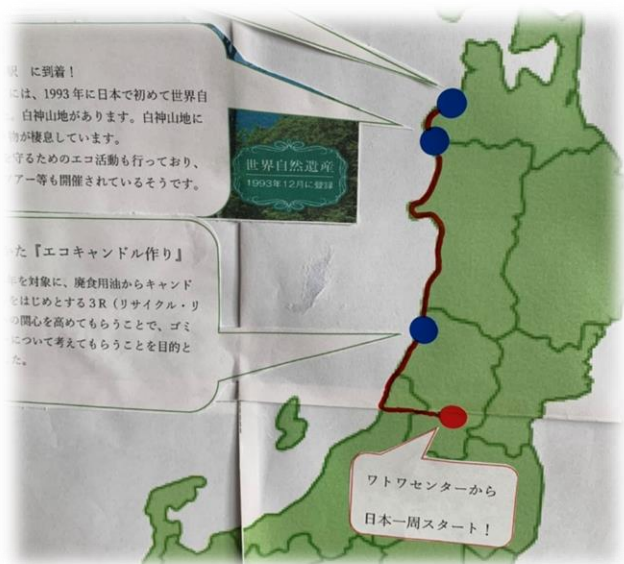
- ・ワトワセンターから出発をし、日本一周をしてワトワに戻ってくるまでを走る。
- ・ルートは海沿いで一般道のみ（ただし場合によってはフェリーもあり）
- ・Google マップ上でルート、その都度地図上に載せていく。



環境掲示板 inワトワセンター南陽



ワトワセンターでは「情報展示コーナー」の壁一面を環境掲示板として利用し、利用者の皆様へ私たちの活動をPRしています。



毎月の環境負荷のグラフ

「エコキャップで日本一周プロジェクト」
現在の位置は・・・！？



エコキャップ寄付の様子

菊とぶどうといで湯の里南陽は 魅力満載



赤湯ラーメン



熊野大社

この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。ご希望の方は、窓口でお申し出
いただくか、下記にご連絡下さい。

南陽市勤労者総合福祉センターHP (<https://www.watowa-nanyo.jp>)

指定管理者株式会社エービーエムHP (<https://www.y-abm.co.jp/>)

エコアクション21中央事務局HP (<http://www.ea21.jp/>) でもご覧いただけます。

〒992-0472山形県南陽市宮内4526-1 TEL. 0238-47-6445